

ウクライナ危機に関する声明

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」というユネスコの理念に則って活動している群馬県ユネスコ連絡協議会（以下、「県ユ連」という）は、この度のウクライナ危機に大変強い懸念を抱いています。

このウクライナ危機は、まさに「人の心の中で生まれた戦争」です。私たちは、心の中に平和のとりでを築かなければなりません。私たち県ユ連は、以下に示す UNESCO 本部の声明（2022年2月24日）、日本ユネスコ協会連盟の声明（2022年2月27日）、並びに日本ユネスコ国内委員会の声明（2022年3月4日）を強く支持します。そして、現在ロシアがウクライナで展開している軍事行動を直ちに中止し、この危機が平和的に解決されるよう切望します。

2022年3月16日

群馬県ユネスコ連絡協議会

（構成団体：桐生ユネスコ協会

太田ユネスコ協会

前橋ユネスコ協会

伊勢崎ユネスコ協会

高崎ユネスコ協会

富岡ユネスコ協会

沼田ユネスコ協会

館林ユネスコ協会

安中碓氷ユネスコ協会

藤岡地方ユネスコ協会

中之条ユネスコ協会

大泉ユネスコ協会

国際ソロプチミスト前橋)

【参考1】UNESCO の声明（2022年2月24日）（仮訳：文科省 HP より）

UNESCO は、ウクライナで進行中の軍事行動と暴力のエスカレーションを深く憂慮している。国連事務総長が述べたように、こうした行動はウクライナの領土保全と主権の侵害であり、国際連合憲章に反するものである。

UNESCO は、国際人道法、特に「武力紛争の際における文化財の保護に関するハーグ条約（1954年）とその2つの議定書（1954年と1999年）を尊重するよう求める。

これは、民主的な社会に必要な基盤の一つとして、また市民の保護に貢献する、自由で独立した公平な報道を促すための、紛争におけるジャーナリスト、メディア専門家及び関連要員の保護に関する「国連安全保障理事会決議2222号（2015年）に基づく義務も含むものである。

また、UNESCO は、子供や教師、教育関係者、学校に対する攻撃や危害の抑止及び教育を受ける権利が守られるよう求める。

注 [UNESCO's statement on the recent developments in Ukraine February 24, 2022](#) UNESCO website

<https://www.unesco.org/en/articles/unescos-statement-recent-developments-ukraine>

【参考2】公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟の声明（2022年2月27日）（要旨）

日本ユネスコ協会連盟は、この度のウクライナ危機に重大な懸念を持ち、UNESCO 本部の声明を強く支持します。UNESCO の精神に立ち戻り、ロシア政府は、直ちに力による問題解決を中止することを求めます。また世界の人のひとは、ウクライナの平和のための声を挙げましょう。

注 [「ウクライナの危機に関する声明」](#) 日本ユネスコ協会連盟 HP <https://www.unesco.or.jp/newsitem/12016/>

【参考3】文部省日本ユネスコ国内委員会の声明（2022年3月4日）

日本ユネスコ国内委員会は、今次のウクライナ情勢に人道上の重大な懸念を持ち、UNESCO 本部の声明（2022年2月24日公表）を強く支持します。

日本ユネスコ国内委員会は、各国のユネスコ国内委員会と連携し、ロシア連邦のウクライナ侵略を最も強い言葉で非難するとともに、ウクライナ国民と共にあることを表明します。また、この侵略に抗議する世界中の文化人、科学者、教育者及び学生・生徒を含む市民との連帯を表明します。

日本ユネスコ国内委員会は、今次の事態を深く憂慮し、尊い命がこれ以上失われぬよう、対話と交渉による平和的解決が図られることを強く望みます。

注 [「ウクライナ情勢に関する日本ユネスコ国内委員会会長声明について」](#) 文部科学省 HP

https://www.mext.go.jp/unesco/001/2019/1420208_00014.htm